

平成 19 年度 テーマ研修「授業を通じた研究のまとめ」

(低) 学年部

1 本年度における研究の内容 (教科・単元・人権同和教育の視点など)

- 学級活動
題材名「お友だちのよいところ」

人権同和教育の視点

- ① 友だちのよいところに気づき、友だちのよさを認める。
- ② いろいろな友だちと仲良く助け合って生活する。

2 事後の実践化と児童の変容

- 帰りの会で「お友だちのいいところ」を紹介しあっている。
「〇〇をしてくれた」だけでなく、「こんないいところを見つけた」という発表も少しずつできるようになってきた。
- 人権教室で、友だちと仲良く助け合っていきたいという意見が出た。
- さまざまな場で、拍手して、友だちの意見を認め合おうという雰囲気づくりに努めた。(友だちの前での発表の場を、多く作るようにした)

3 本年度における研究の成果

- すべての教育活動において、自他の大切さを認めるきっかけとなった。
- 日常的に子どもを大切にしようとする意識が出てきた。
- 低学年にとって「人権」という言葉が難しいようだったが、「人権」という言葉に触れることが多かったため、わかるようになってきた。
- 保護者向けのアンケートもあり、PTAで話し合うこともでき、意識付けにつながった。

4 本年度における研究の課題

- 保護者向けのアンケートへの参加は、100%ではなかったため、今後も啓発の機会を作る。(学年・学級通信等)
- 人権に関するアンケート結果を生かした学級経営に努める。